



ぴんぽーん♪



家庭教育支援事業 ★子育て支援課

令和6年12月発行

支援便り
第87号

～インターネットやSNSの危険性から子ども達を守るために～

スマホやタブレットなどでインターネットを利用している子どもの割合は、年々増加しています。インターネットの世界には役立つ情報がたくさんある一方で、SNSでのトラブルやネットを通じた犯罪に巻き込まれるなどのリスクも伴います。

こうしたトラブルから子どもを守るためには、保護者がその特徴やリスクについて理解しながら、子どもを見守ることが大切です。

実際に北海道でも起きている、小中学生の話です…

気をつけて！

①SNSによる悪ふざけがとんでもないことに…中学2年生男子

- 友だち5人で、ビデオ通話しながら、おしゃべり。A男子が悪乗りして、近くにいた幼稚園の妹のズボンを下げ、下半身があらわに
- B男子が、スクリーンショット保存した。5人のグループラインに提示して、A男子をからかい・脅迫
- A男子は激しく怒り、「消して！」→その場では消す。しかし消去しておらず、その後もたびたびトラブルに
- A男子の父親が、事実を知り、中学校・警察に相談。関係者全員取り調べを受ける。



②ネットで悩み相談した相手におどされて、性被害に…小学5年生女児

- 父親のタブレットからSNSで、家族・友だち・学校の悩み（悪口など）を知らない人に相談
- 親身になって優しく聞いてくれるので、個人情報も送ってしまう
- 数か月のやり取り後に、「下着や裸の写真を送れ！送らないと今までの内容をばらす」と脅かされる
- 写真を送ると、「実際に会わないと写真をばらまく」と脅され、実際に会い被害にあう

①②は、深刻な事例ですが、本人たちは「ちょっとした悪ふざけ」だったり「ただ相談しただけなのに…」という気持ちなのです。問題が大きくなる前に、大人ができたことがあるのでは？と非常に残念です。

社会性が未熟な小学生のうちからスマホに慣れ、どんどん新しい機能やアプリを使ってみたいのが「子ども」なので、このような事件・事故は、誰にでも起きる可能性があります。



え～、
どうしたらいいの？



親にできることは？

ゆっくりできる冬休みだからこそ、親子でたくさんおしゃべりしましょう

★ネットでの楽しいこと、驚いたこと、不安になったこと、友だちとの使い方などを、ざっくばらんに子どもと話してみましょう。動画を一緒に見て、運動をしたり、おやつを作るのも良いかも

★もし気になる使い方などしていても、すぐに叱ったりしないで、「ふ～ん、そうなんだ～」とうなずいたり、相づちをうちながら、子どもにたくさん話してもらいます。

★親として気をつけてほしいことを伝える



そして、一番大事なことは…

わからない時は、
家庭教育支援員に相談してね！



「ネットで何かあったら、絶対に怒らないし、あなたを守るから、相談してね」と伝えましょう。

大人が知っておきたい世界の動き

Q1 どうしてオーストラリア議会では、「16歳未満のSNS禁止法案」を可決したの？

- × 禁止になったもの → Instagram(インスタグラム)・TikTok・X・Snapchat(スナップチャット)など
- 使っても良いもの → YouTube(ユーチューブ)・オンラインゲーム・GoogleClassroom(グーグルクラスルーム)・LINE
- ➡ 違反した場合は、子どもや親への罰則なし。事業者に対し「合理的な措置」を求め罰金も科す



オーストラリアの保護者

息子に9歳からスマホを持たせた。2年後にSNSを使い始めてから、いじめにあったり、TikTokでのショート動画に依存して、拒食症となり、命を絶ててしまった。「18歳になるまでスマホを持たせるべきではない。(中毒性や有害性は)飲酒と何ら変わらないのだから…」

A1 思春期の子ども達への悪影響が明らかになったから

＊ 日本よりも早くから子ども達にネットを自由に使わせ、スマホの学校持ち込みも認めていた欧米諸国では、主にSNSによる動画中毒などの依存的な使い方、深刻化するいじめや性被害、うつや不安症・摂食障害や自殺などの増加が、国としての課題となりました。アメリカ・イギリス・フランスなどでも、オーストラリアと同様の動きがあります。日本も他人事ではなくなるでしょう。

Q2 子どもはLINEを使い、インスタやTikTokも観ているけれど、何に注意したらいいの？

A2 SNSの利用規約にある年齢制限を、今一度子どもと確認しましょう

- ＊ たいていのSNSは見るだけでも、13歳以上対象となっています。(投稿するのはもっと上の年齢)
今回の「オーストラリアの禁止」について話題にしながら、子どもと一緒にSNSの依存性や危険を話してみましょう。
- ＊ 特に小学生の場合は、「大人という時に使うこと」「どんなSNSを見ているのか、親に教えること」を約束しましょう。来年から日本でも、インスタなどの年齢制限は厳しくなります。そのような情報を見逃さずに、大人が制限をかけることが求められます。
- ＊ 白老のご家庭でも、「LINEは、家族のタブレットからさせています」「スマホは遅めに持たせたいので、SNSは親のスマホでみせています」など、いろいろ工夫されているようです。
- ＊ これからスマホを持たせる場合は、購入時に設定される「あんしんフィルター」を安易に外さないこと。「LINEしたいから外して」と言われても、それ以外のアプリを勝手に取れないように設定することもできます。面倒でも、子どもからの要求を受け止めながら親の意見も述べて、決めていきましょう。

イベントのおしらせ

親子のあったかい時間に 絵本はいかが？

日時：令和7年2月15日(土) 10時～

場所：いきいき4♡6 1階 交流センター

★詳しい内容は、1月末に配布されるチラシ又は広報2月号をご覧ください。



①
こどもと絵本
のお話し

②
わくわく！おはなし
パネルシアターや
大型絵本など…
お楽しみに！

③
図書館の絵本を
親子で自由に楽
しもう

★当日は、図書館の絵本の
貸し出しもあります。

～いつでも・どこでも・速やかに、子育て情報届けます～

相談・講師派遣、家庭教育支援活動についてのお問合せはこちらまで

★訪問型家庭教育支援員
090-1528-9018

または

★白老町子育て支援課
0144-85-2021